

令和3年5月24日

保護者の皆様

金沢大学附属小学校

校長 盛一 純平

今年度の水泳授業の中止について

保護者の皆様には新型コロナウイルス感染防止のためのさまざまな措置にご協力いただき心より感謝申し上げます。

さて、水泳授業実施の判断をする時期となりました。文部科学省から水泳指導の取扱いを記した通知文（令和3年4月9日付事務連絡「学校の水泳授業における感染症対策について」スポーツ庁政策課学校体育室）では、以下のように記されています。

体育は実技を伴う教科であるため、特に児童生徒の健康と安全を第一に考えて、学習の内容や形態、授業の実施場所や時期等を総合的に考慮しながら、感染リスクへの対策が必要となります。特に、水泳の授業においては、複数学級による合同授業の実施に伴い多くの児童生徒が同時にプールや更衣室を使用したり、複数の児童生徒が組になる形態で安全の確認をしながら学習を行ったりするなど、児童生徒の密集・密接の場面が想定されるため、様々な感染リスクへの対策を講じる必要があります。このため、児童生徒の健康と安全を第一に考えて、地域の感染状況を踏まえ、密集・密接の場면을避けるなど、下記の事項（省略）を十分に踏まえた対策を講じた上で、水泳授業の実施について検討してください。

県独自の「石川緊急事態宣言」が発出され、石川県まん延防止等重点措置（対象地域は金沢市）も適用されている現在、本校では以下の理由から様々な感染リスクへの対策が不十分になることや、児童の健康と安全が第一であることから、今年度のプールを使用した水泳授業を中止といたします。昨年度に引き続き連続での中止となりますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

なお、実技は行いませんが「水遊び、浮く・泳ぐ運動」「水泳の事故防止」等については、授業で学習いたします。

- マスクを常に外してプール内やプールサイド、更衣室において、密集・密接を避けるなど、飛沫感染を防ぐ対策を講じるのが難しい。
- 1学級のみで実施することも検討したが、指導にあたる教職員の人数が少数となってしまうため、安全確保の面で不十分な指導体制となってしまう。
- 県内で新型コロナウイルスの感染が拡大し、モニタリング指標がステージIV（感染拡大緊急事態）にある現在、第4波の影響が今後も考えられる。